

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
490	『艷容女舞衣』絵尽	資料					①安永1年12月（初演） ③早稲田大学演劇博物館蔵
	* 和佐大夫（豊竹） * 川内大夫（竹本） * 佐渡大夫（豊竹）	評判記			義太夫執心録		③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書房・芸能史研究会＝編）等に所収
	院本雑話 （六）三勝酒屋	参考	狂綺堂		演芸世界	第2号	①明治34年4月 ④演芸世界社
	三勝半七	考証	小出緑水		演芸世界	第7号	①明治34年9月 ④演芸世界社
	義太夫借用帳 （廿一）いもせかは	参考	丁字舎		演芸世界	第8号	①明治34年10月 ④演芸世界社
	女舞衣 酒屋の段	注釈	蓼沼祐太郎・山沢簡＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
265	附録 語方の実例 艷容女舞衣 酒屋の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月 富田文陽堂より第2版、大正10年9月 野村青雲堂より第4版発行
					岡鬼太郎花柳文芸名作選		①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢書 刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
	艶姿女舞衣 酒屋の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲百段語り物の 訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	語り物の訳てふ本（五） 艶姿女舞衣酒屋の段				浪花名物浄瑠璃雑誌	第208号	①大正10年12月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社
	劇に於ける手紙 [艷容女舞衣酒屋の段]	随筆	松田竹嶼		手紙雑誌	第3巻 第4号	①明治39年4月 ④有楽社
265	堀江座の人形浄瑠璃素人評	劇評	中村商海史・中村柳雨子		浪花名物浄瑠璃雑誌	第72号	①明治42年1月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③明治42年1月堀江座所演
265	文楽座五月興行	劇評			浪花名物浄瑠璃雑誌	第76号	①明治42年6月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③明治42年5月御霊文楽座所演

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
265, 525	* 艶姿女舞衣 * 妹背山の唄 * 団十郎の話 * 生駒と古靱 * 浄瑠璃の唄 * 時世に伴る * 芸道の練修 * 切に障る節 * 合邦と宗岸	芸談	熊谷為蝶	竹本摂津大 椽	演芸画報	第5年 第3号	①明治44年3月 ④演芸画報社 ③原題『浄瑠璃の研究(二)』
					義太夫の心得		①明治44年10月 ④中島辰文堂
	堀江座一寸覗き	劇評			浪花名物浄瑠璃雑 誌	第94号	①明治44年4月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③明治44年4月堀江座所演
	近松座寄合評	劇評			浪花名物浄瑠璃雑 誌	第102号	①明治45年3月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③明治45年3月近松座所演
	越路太夫の七日間	劇評	鬼太郎		演芸倶楽部	第2巻 第1号	①大正2年1月 ④博文館 ③大正1年12月東京新富座所演(素浄瑠璃)
	第三種 艶姿女舞衣 * 酒屋の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会
	御霊文楽座(大正2年10月26日)	劇評			義太夫年表 大正 篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」(大正篇)刊行会 ③大正2年11月御霊文楽座所演。「毎日新聞」より 転載
	文楽座十一月興行	劇評			浪花名物浄瑠璃雑 誌	第125号	①大正2年12月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③大正2年11月御霊文楽座所演(一言)
265	『酒屋』と『新口村』	劇評	香川蓬州		演芸画報	第7年 第12号	①大正2年12月 ④演芸画報社 ③大正2年11月御霊文楽座所演
	大阪文楽座の霜月	劇評	梅夢道士		演芸倶楽部	第2巻 第12号	①大正2年12月 ④博文館 ③大正2年11月御霊文楽座所演
	講壇 艶姿女舞衣酒屋の段	研究		月廼舎掬水	浪花名物浄瑠璃雑 誌	第132号	①大正3年6月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社
	近松座の十月興行	劇評			浪花名物浄瑠璃雑 誌	第136号	①大正3年11月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③大正3年10月近松座所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	御霊文楽座（大正4年1月2日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正4年1月御霊文楽座所演。「毎日新聞」より転載
265	新年の文楽座	劇評			浪花名物浄瑠璃雑誌	第139号	①大正4年1月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③大正4年1月御霊文楽座所演
	御霊文楽座（大正4年9月15日）	劇評	水島生		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正4年9月御霊文楽座所演。「朝日新聞」より転載
265	文楽座の盆替り	劇評			浪花名物浄瑠璃雑誌	第147号	①大正4年9月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③大正4年9月御霊文楽座所演
	棧敷から書齋へ	参考	伊原青々園		演芸画報	第4年 第3号	①大正6年3月 ④演芸倶楽部
	棧敷から書齋へ 十五 三勝半七				棧敷から書齋へ		①大正13年7月 ④玄文社
	御霊文楽座（大正6年5月20日）	劇評	無憂樹		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正6年5月御霊文楽座所演。「毎日新聞」より転載
			玖琉盤				③「朝日新聞」より転載
	第一章 浄瑠璃を語ると云ふ事の意義 鼻唄式前受専門の浄瑠璃 *一例として『艷容女舞衣』の酒屋	研究	秋山木芳（清）		義太夫大鑑	下巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社 ③語り口の変化に対する批判
			近世文芸研究叢書 刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
	第三章 語り方の理論 理論の応用＝先人の遺訓 *竹本越路太夫の芸談 *豊竹呂太夫の芸談	芸談	秋山木芳（清）	《3》竹本越路太夫	義太夫大鑑	下巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社 ③「今頃は半七さん…」の息遣い
				《2》豊竹呂太夫			③豊竹古鞠太夫の「酒屋」
			近世文芸研究叢書 刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
	艷容女舞衣酒屋の枕	演出	一記者		浪花名物浄瑠璃雑誌	第182号	①大正7年12月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
218	艶容女舞衣 * 三勝半七酒屋の段	演出	杉山其日庵（茂丸）		黒白	83号	①大正13年9月 ④黒白発行所
					浄瑠璃素人講釈		①大正15年12月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻版
					浪花名物浄瑠璃雑誌	第277号	①昭和4年2月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社
					近世文芸研究叢書 刊行会＝編	近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5	
525, 642			杉山其日庵＝著 内山美樹子・桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(下)	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	文楽の人々	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演。「東京朝日新聞」より転載
					岡鬼太郎花柳文芸 名作選		①昭和55年10月 ④鳳書院 ③昭和18年5月三田文学出版部版の復刻
	文楽雑感 新橋演舞場の第一回を観て	劇評	鬼太郎		演芸画報	第23年 第8号	①昭和4年8月 ④演芸画報社 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演（短評）
	古鞆の「太十」	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第11輯	①昭和5年4月 ④演芸月刊社 ③昭和5年4月四ツ橋文楽座所演
	文楽座四月興行の賑ひ	劇評			浪花名物浄瑠璃雑誌	第291号	①昭和5年5月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③昭和5年4月四ツ橋文楽座所演（短評）
	人形芝居の研究 九、人形の構へといふ事	研究	石割松太郎		人形芝居雑話		①昭和5年10月 ④春陽堂 ③《2》桐竹亀松・《1》桐竹紋十郎・《3》吉田文五郎（吉田難波掾）のお園の型の相違
					人形芝居の研究		①昭和8年10月 ④更正閣
							①昭和18年11月 ④修文館 ③盛田嘉徳＝編

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	東上の人形一座	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和6年7月東京明治座所演。「東京朝日新聞」より転載
					岡鬼太郎花柳文芸 名作選		①昭和55年10月 ④鳳書院 ③昭和18年5月三田文学出版部版の復刻
265	人形芝居の味感 文五郎のお園	劇評	松原寛		演芸画報	第25年 第8号	①昭和6年8月 ④演芸画報社 ③昭和6年7月東京明治座所演
265	文楽座の十月	劇評	たかきや生		浪花名物浄瑠璃雑 誌	第306号	①昭和6年11月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年10月四ツ橋文楽座所演
	総動員の文楽人形芝居	劇評	安部豊		演芸画報	第26年 第1号	①昭和7年1月 ④演芸画報社 ③昭和6年11月東京明治座所演
	第四部 新聞劇評抜粋 * 文楽大挙上京	劇評	三宅周太郎		演劇巡礼		①昭和10年5月 ④中央公論社 ③昭和6年11月東京明治座所演（短評）
	文楽の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第26年 第6号	①昭和7年6月 ④演芸画報社 ③昭和7年5月東京東京劇場所演
	文楽人形浄瑠璃合評 △好景気だった文楽	劇評	安部豊		演芸画報	第27年 第8号	①昭和8年8月 ④演芸画報社 ③昭和8年7月東京東京劇場所演
	文楽見たまま聞いたままの記	劇評	金光明川		浪花名物浄瑠璃雑 誌	第329号	①昭和9年1月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
	浄瑠璃雑話 * 「酒屋」のアトの問題 * サハリとクドキーその正しき意味 * サハリとクドキーその実例	研究	石割松太郎		近世演劇雑考		①昭和9年9月 ④岡倉書房 ③初出＝昭和7年10月
	第一編 芸の生涯 三、文楽座時代 * 酒屋の代役	演出	木谷正之助（蓬 吟）		五世竹本弥太夫 芸の六十年		①昭和9年10月 ④私家版 ③明治4年9月いなり文楽芝居所演における《1》豊 竹古鞠太夫の代役
	第二編 人物と芸格 一、弥太夫の人と芸と 一三、チャリの酒屋	芸談		《4》鶴沢綱 造		③チャリ語り専門の八木〇福の「酒屋」	
	三、謙譲の人			森下蟻洞		③《5》竹本弥太夫の「酒屋」	

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	文楽座人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第29年 第8号	①昭和10年8月 ④演芸画報社 ③昭和10年7月東京明治座所演
	文楽座七月を聴く	劇評	鬼面山		浪花名物浄瑠璃雑誌	第351号	①昭和11年8月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③昭和11年7月四ツ橋文楽座所演
265	文楽座の人形浄るり	劇評	安部豊		演芸画報	第30年 第9号	①昭和11年9月 ④演芸画報社 ③昭和11年7月東京歌舞伎座所演
	下の巻 批評と追悼 七「若手」本位に	劇評	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和11年7月東京歌舞伎座所演（短評）
新編続文楽の研究						①昭和23年6月改訂発行 ④創元社 ③創元選書84	
定本続文楽の研究						①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫	
続文楽の研究						①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫	
						①平成17年8月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載	
265	文楽座の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第31年 第7号	①昭和12年7月 ④演芸画報社 ③昭和12年6月東京明治座所演
	文楽の北陽落ち	劇評			浪花名物浄瑠璃雑誌	第365号	①昭和12年10月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③昭和12年10月北陽演舞場所演
	新橋演舞場の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第32年 第8号	①昭和13年8月 ④演芸画報社 ③昭和13年7月東京新橋演舞場所演

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	九、文楽座へ復帰 * 津太夫さんの「酒屋」	芸談	鴻池幸武＝編	《1》吉田栄 三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。明治37年6月御霊文楽座所演の《2》竹本津太夫の「酒屋」
	十、松竹さんになってから * 大掾さんの引退						③初役のお園
	「美濃屋」解説	参考	岡田蝶花形		浪花名物浄瑠璃雑誌	第374号	①昭和13年11月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③『女舞剣紅楓』『美濃屋』について
	酒屋のお園	随筆	吉永孝雄		上方	第109号	①昭和15年1月 ④創元社
						第10巻 (下)	①昭和45年10月 ④新和出版社 ③上方刊行会＝監修、『上方』第109号を復刻所収
	三月の文楽座	劇評	高谷伸		演芸画報	第35年 第4号	①昭和16年4月 ④演芸画報社 ③昭和16年3月四ツ橋文楽座所演（短評）
265	文楽座三月興行短評	劇評	鴻池幸武		浪花名物浄瑠璃雑誌	第398号	①昭和16年4月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③昭和16年3月四ツ橋文楽座所演（短評）
プ16、 525	今頃は半七さんの型	研究	吉永孝雄		上方	第125号	①昭和16年5月 ④創元社 ③《3》吉田文五郎（吉田難波掾）のお園の型
						第10巻 (下)	①昭和45年10月 ④新和出版社 ③上方刊行会＝監修、『上方』第125号を復刻所収
	付録 1人形型取り * 吉田文五郎のお園				吉永孝雄の私説昭和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2
	歌舞伎にあらはれた義理人情 「お園」と「お光」へ	随筆	北林余志子		演芸画報	第36年 第1号	①昭和17年1月 ④演芸画報社
	芸談 文楽鑑賞（五） 『酒屋』『艶容女舞衣』下の巻	芸談	山口廣一	《6》鶴沢友 次郎	演芸画報	第36年 第6号	①昭和17年6月 ④演芸画報社
47、84、 116、218	下の巻『酒屋』				文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版。『演芸画報』昭和17年6月号掲載のものに加筆収録

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	鶴沢叶・聞書 * 初代豊竹古朝太夫さん	芸談	茶谷半次郎	《4》鶴沢叶 (《2》鶴沢清八)	聞書 芸と文学		①昭和17年6月 ④全国書房 ③『文芸春秋』昭和7～8年及び『週刊朝日』昭和9年掲載分をまとめたもの。「酒屋」の評判
					文楽聞書		①昭和21年5月 ④全国書房 ③「鶴沢叶・聞書」を収録
	文楽見物記	劇評	安部豊		演芸画報	第36年 第8号	①昭和17年8月 ④演芸画報社 ③昭和17年7月東京新橋演舞場所演（短評）
	文楽の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第37年 第1号	①昭和18年1月 ④演芸画報社 ③昭和17年12月東京新橋演舞場所演
	名作浄瑠璃解説 艶姿女舞衣	解説 梗概	《6》竹本住太夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③《6》竹本住太夫文楽生活年表付載。「酒屋の段」本文と頭注付載
					六代竹本住太夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③《9》竹本文字大夫（《7》竹本住太夫）・佐藤靄子＝編。《6》竹本住太夫舞台年譜（佐藤靄子＝編）付載。「酒屋の段」本文と頭注を削除して収録

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	青鬼、赤鬼	芸談	中村泰昌	《3》吉田文 五郎	文五郎芸談		①昭和18年2月 ④桜井書店 ③昭和22年10月改装版、昭和23年9月再版あり。吉田小文（《2》桐竹紋十郎）が半七の足を遣って認められたこと
					浄瑠璃名作集		①昭和36年3月 ④筑摩書房 ③古典日本文学全集25。昭和41年12月普及版
					生活の随筆	第7 (職)	①昭和37年11月 ④筑摩書房
					芸術の思想		①昭和39年8月 ④筑摩書房 ③現代日本思想大系第14。矢内原伊作＝編
					浄瑠璃名作集		①昭和50年10月 ④筑摩書房 ③古典日本文学全集24
					日本の芸談	第3巻 能 狂言 文楽	①昭和53年12月 ④九藝出版 ③『山城少掾自伝』『文五郎芸談』を収録
	艶容女舞衣	解説	山口廣一		文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
	東京東海道四国巡業のこと	芸談	鴻池幸武	《1》鶴沢道 八	道八芸談		①昭和19年1月 ④私家版 ③昭和62年11月ぺりかん社より復刊。《2》豊沢団平から教えられた「酒屋」の「チン」
	人形 人形の構造 ●頭のいろいろ * 定の進	芸談	《2》桐竹紋十郎		文楽の人形と三味 線		①昭和19年10月 ④文楽研究会 ③宗岸のカシラ
	* 舅						③半兵衛のカシラ
	人形雑話 ●人形の型について * 型の工夫						③サワリの型
	三、古鞠太夫芸談	芸談	三宅周太郎	《2》豊竹古 鞠太夫（豊 竹山城少 掾）	演劇手帳		①昭和22年3月 ④甲文社 ③昭和21年3月京都南座所演に因んで。「京都新聞」（昭和21年4月）より転載

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	団平の憶ひ出一鶴沢道八師に訊く— * 叱られた記憶	芸談	茶谷半次郎	《1》鶴沢道八	文楽聞書		①昭和21年5月 ④全国書房 ③《2》豊沢団平から教えられた「酒屋」の「チン」
	五月の文楽	解説	山口廣一		幕間	第1号	①昭和21年5月 ④和敬書店 ③昭和21年5月四ツ橋文楽座所演
	南座三題 古鞠太夫と猿之助 八、古鞠太夫と猿之助	評論	三宅周太郎		演劇手帳		③昭和21年3月京都南座所演に因んで ①昭和22年3月 ④甲文社
	大阪の一日	劇評	太宰施門		古典演劇		①昭和21年9月 ④高桐書院 ③昭和21年5月四ツ橋文楽座所演
	芸術祭のメモから	劇評	安藤鶴夫		観照	第3号	①昭和21年10月 ④観照社 ③昭和21年9月26日東京帝国劇場所演（素浄瑠璃）
	文楽の女の世界	鑑賞	土門拳		土門拳全集	6文楽	①昭和60年11月 ④小学館 ③初出＝『婦人画報』昭和22年2月号
	先代紋十郎の芸	芸談	《2》桐竹紋十郎		幕間	別冊文楽号	①昭和22年5月 ④和敬書店 ③型の違いについて
ブ16	「酒屋談義」		茶谷半次郎	豊竹山城少掾	山城少掾聞書		①昭和24年8月 ④和敬書店
47、84、 116、 218、557	「酒屋」について						
	五月の文楽座 山城少掾の熊谷受領襲名で賑ふ	劇評	大西重孝		幕間	第2巻 第6号	①昭和22年6月 ④和敬書店 ③昭和22年5月四ツ橋文楽座所演（一言）
	文楽の戦後史 * 山城少掾の熊谷—受領襲名で賑う—				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会
	古劇・新劇 関西初夏劇信	劇評	山口廣一		文楽	第2巻 第6号	①昭和22年7月 ④誠光社 ③昭和22年5月四ツ橋文楽座所演（短評）

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文五郎の「お染」と「お園」(二) 『艶容女舞衣』「酒屋」のお園	演出	大西重孝		文楽	第2巻 第5号	①昭和22年6月 ④誠光社 ③《3》吉田文五郎(吉田難波掾)のお園の型
47、84、 116、 218、557	4 文楽の演出 文五郎の型 『艶容女舞衣』「酒屋」のお園				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
265	文楽引越興行	劇評	桂田重治		幕間	第2巻 第8号	①昭和22年8月 ④和敬書店 ③昭和22年7月京都南座所演
	封建の悲劇	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	Ⅲ芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和22年9月東京東京劇場所演(一言)。初出＝ 「東京新聞」(昭和22年9月17日)。平成9年3月復 刻版。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋 十郎』『芸と人』『芸について』他を収録
	文楽の女形	芸談	《2》桐竹紋十郎		幕間	第2巻 第10巻	①昭和22年10月 ④和敬書店 ③「女形特輯」
	栄三郎の死	随想	大西重孝		観照	第12号	①昭和22年12月 ④観照社 ③昭和21年12月24日四ツ橋文楽座における第3回若 手向上会での吉田栄三郎のお園について
	惜しかった栄三郎				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	桐竹紋十郎対談	芸談	三宅周太郎	《2》桐竹紋 十郎	幕間	第3巻 第9号	①昭和23年9月 ④和敬書店
	桐竹紋十郎				芸能対談		①昭和25年5月 ④創元社
	思い出の芸人たち わたしの耳目修行(中)	随筆	本山荻舟		文楽	第3巻 第8号	①昭和23年10月 ④誠光社 ③《2》竹本春子太夫の「酒屋」
	文楽解放論 わたしの耳目修行(下)					第3巻 第9号	①昭和23年11月 ④誠光社 ③《2》竹本春子太夫の「酒屋」
	関西劇信 独立劇団と文楽	劇評	高谷伸				③昭和23年10月中座所演(一言)
	掛合の両端	劇評	大西重孝		観照	第19号	①昭和24年1月 ④観照社 ③昭和23年10月中座所演(短評)

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文五郎プロフィール（上）	芸談	茶谷半次郎	《3》吉田文五郎（吉田難波掾）	幕間	第4巻 第1号	①昭和24年1月 ④和敬書店 ③「酒屋」の型について
	芝居の中の女性 V 典型化された貞女烈婦「酒屋」のお園	鑑賞	高岡宣之		歌舞伎の女性		①昭和24年1月 ④新府書房
	歌舞伎百趣 82艷容女舞衣（三勝半七）	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
	古靱襲名・初代古靱	芸談	茶谷半次郎		山城少掾聞書		①昭和24年8月 ④和敬書店 ③《1》豊竹古靱太夫の「酒屋」
	続栄三の憶ひ出（一）—光造に訊く—	芸談	茶谷半次郎	《3》吉田光造（《2》吉田栄三）	幕間	第4巻 第10号	①昭和24年10月 ④和敬書店 ③「酒屋」の型について
	文楽組合派と若手歌舞伎	劇評	大木豊		幕間	第5巻 第1号	①昭和25年1月 ④和敬書店 ③昭和24年12月東京三越劇場所演（短評）
	文楽、文楽座へ帰る	劇評	大西重孝		幕間	第5巻 第2号	①昭和25年2月 ④和敬書店 ③昭和25年1月四ツ橋文楽座所演
	文楽座の再開	劇評	大西重孝		観照	第26号	①昭和25年4月 ④観照社 ③昭和25年1月四ツ橋文楽座所演（短評）
	笠屋三勝廿五年忌	解説 梗概	黒木勘蔵		増補改訂日本文学 大辞典	第1巻	①昭和25年2月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	山城の重量感	劇評	安藤鶴夫		安藤鶴夫作品集	Ⅲ 芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③昭和25年3月東京新橋演舞場所演。初出＝「スクリーン・ステージ」。平成9年3月復刻版
	型で物語る	鑑賞 写真	吉永孝雄＝文 三村幸一・安原仙三＝写真		文楽		①昭和26年1月 ④岩波書店 ③岩波写真文庫53。《3》吉田文五郎（吉田難波掾）のお園のサワリの連続写真
265	三越「文楽」から	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第9巻 第7号	①昭和26年7月 ④演劇新社 ③昭和26年6月東京三越劇場所演

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	文楽人形用語（四） * 後ぶり	演出	大西重孝 三村幸一＝撮影 大西重孝		舞台展望	第7号	①昭和27年1月 ④舞台すがた社
	3 人形の基本的な型 * 後ぶり				文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③大西重孝・吉永孝雄＝解説、三村幸一＝写真、文楽座＝編
	2 人形の基本 人形の型（演技） * 後ろぶり				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	幸運の三人	劇評	沼艸雨		幕間	第7巻 第10号	①昭和27年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年9月中座所演（短評）
	文楽の黄昏	劇評	武智鐵二		演劇評論	創刊号	①昭和28年9月 ④演劇評論社 ③昭和28年8月京都南座所演
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	争う文楽	劇評	沼艸雨		演劇評論	第2号	①昭和28年10月 ④演劇評論社 ③昭和28年8月中座所演
	あがく文楽	劇評	吉永孝雄		幕間	第9巻 第10号	①昭和29年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年9月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽合同公演を聴く	劇評	内海繁太郎		幕間	第10巻 第1号	①昭和30年1月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年11月28日東京東横ホール所演（素浄瑠璃・短評）
	『二つの文楽』のたたずまい	劇評	大鋸時生		演劇評論	第3巻 第5号	①昭和30年5月 ④演劇評論社 ③昭和30年3月京都南座所演（短評）
	収穫は「酒屋」	劇評	大西重孝		演劇界	第14巻 第2号	①昭和31年2月 ④演劇出版社 ③昭和31年1月道頓堀文楽座所演
	新文楽座拝見記	劇評	高木四郎＝絵 殿田栄世＝文		幕間	第11巻 第2号	①昭和31年2月 ④幕間和敬書店 ③昭和31年1月道頓堀文楽座所演（短評）
	前途多難	劇評	塩野谷恵彦		間	第4号	①昭和31年4月 ④名古屋歌舞伎研究会 ③昭和31年1月道頓堀文楽座所演（短評）

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	ねむり目の乱用	劇評	武智鐵二		定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房 ③昭和31年6月東京三越劇場所演（一言）
	艶容女舞衣	解説 鑑賞	高野正巳		日本古典鑑賞講座	第21巻 浄瑠璃・歌 舞伎	①昭和33年2月 ④角川書店 ③高野正巳・河竹繁俊＝編
	三勝半七の伝と文芸 その一	研究	沼波守		相愛女子大学相愛 女子短期大学研究 論集	第5巻 第1号	①昭和33年5月 ④相愛女子大学・相愛女子短期大学
	その二					第7巻 第1号	①昭和35年11月
	その三					第8巻 第2号	①昭和37年1月
	吉田難波掾 十六 芸と秘伝	芸談	吉田難波掾		私の履歴書	第7集	①昭和34年2月 ④日本経済新聞社 ③初出＝「日本経済新聞」昭和33年9月連載。「酒屋」のお園に対する批判について
	16 芸と秘伝					文化人10	①昭和59年2月 ④日本経済新聞社
	豊竹山城少掾最後の舞台	劇評	吉永孝雄		幕間	第14巻 第2号	①昭和34年2月 ④幕間和敬書店 ③昭和34年1月道頓堀文楽座所演
	豊竹山城少掾 一 信条	芸談	豊竹山城少掾		私の履歴書	第9集	①昭和34年10月 ④日本経済新聞社 ③初出＝「日本経済新聞」昭和34年2月連載。「酒屋」を例に作品の精神のあり方を説明
	山城少掾自伝 信条					第3巻 能 狂言 文楽	①昭和53年12月 ④九藝出版
	1 信条					私の履歴書	文化人10
	2 名作の舞台 * 艶姿女舞衣	解説 写真	大西重孝・吉永孝 雄＝著／三村幸一 ＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	2 人形浄瑠璃の趣向について * クドキ						

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
525, 557	艶容女舞衣	解説 梗概	横山正		演劇百科大事典	第4巻	①昭和36年3月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	二つの文楽公演	劇評	堂本正樹		演劇界	第21巻 第3号	①昭和38年3月 ④演劇出版社 ③昭和38年2月東京東横ホール所演（短評）
	紋十郎二代	鑑賞	安藤鶴夫		まわり舞台		①昭和38年3月 ④桃源社 ③《1》桐竹紋十郎の「酒屋」。初出＝昭和32年6月
	義太夫の女						③初出＝昭和37年2月
	でんでん虫五十年 * 代役物語	芸談	《8》竹本綱大夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房 ③宗岸と半兵衛との情合
	* 綱大夫襲名 綱子初舞台						③「酒屋」と代々の綱大夫との関係
	芸談 綱大夫の代々						
	演目の詳説 「艶容女舞衣」酒屋の段	解説 鑑賞	長尾莊一郎		文楽公演プログラム (東京大妻講堂)		①昭和39年11月 ④大学歌舞伎研究連盟
	関西劇場街探点 山城少掾の余光	劇評	北岸佑吉		演劇界	第23巻 第3号	①昭和40年3月 ④演劇出版社 ③昭和40年2月朝日座所演
	文楽の『葛の葉』と『市若初陣』	劇評	服部幸雄		演劇界	第23巻 第8号	①昭和40年8月 ④演劇出版社 ③昭和40年7月東京三越劇場所演
	義太夫教室 せき	芸談	《8》竹本綱大夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③半兵衛のせき
	解説 新色五巻書	研究	野間光辰		日本古典文学大系	91浮世草子 集	①昭和41年11月 ④岩波書店
	紋十郎と舞台	写真 鑑賞	金子弘＝写真／安藤鶴夫＝文		文楽◎桐竹紋十郎		①昭和42年1月 ④求龍堂（限定版） ③中西敬二郎「二世桐竹紋十郎年譜」を収録。お園

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	桐竹紋十郎 第二章 2 第二章 4	芸談	安藤鶴夫				③「第二章 2」は《3》吉田文五郎（吉田難波掾）のお園の代役について、「第二章 4」は《1》吉田栄三と《3》吉田文五郎（吉田難波掾）のお園の違い
					安藤鶴夫作品集	皿芸	①昭和45年12月 ④朝日新聞社 ③平成9年3月復刻版。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋十郎』『芸と人』『芸について』他を収録
					文楽 芸と人		①昭和55年1月 ④朝日新聞社 ③朝日選書150。『文楽 日本の伝統』『古楽芸談』『桐竹紋十郎』を収録
	関西劇場街探点 明治百年新喜劇二十年	劇評	北岸佑吉		演劇界	第25巻 第2号	①昭和42年2月 ④演劇出版社 ③昭和42年1月朝日座所演
	関西の劇場 文楽と大奥	劇評	北岸佑吉		演劇界	第27巻 第7号	①昭和44年6月 ④演劇出版社 ③昭和44年4月朝日座所演
	「盛衰記」の通しと「酒屋」	劇評	千葉胤男		演劇界	第28巻 第3号	①昭和45年3月 ④演劇出版社 ③昭和45年2月東京国立劇場小劇場所演
	七〇年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七一年 版	①昭和46年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和45年2月東京国立劇場小劇場所演（一言）
	一九七〇年の文楽				文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	* 三勝半七墓 * 五條新町	史跡	駒敏郎		大和路—文学散歩—		①昭和45年11月 ④保育社 ③カラーブックス209
525	三勝半七二十五年忌 解説	参考	横山正		日本古典文学全集	45浄瑠璃集	①昭和46年11月 ④小学館
	関西通信 文楽と新喜劇	劇評	北岸佑吉		演劇界	第30巻 第2号	①昭和47年2月 ④演劇出版社 ③昭和47年1月朝日座所演
	文楽の首シリーズ=24	解説	斉藤清二郎=写 真・文		国立劇場文楽公演 解説書	第24回	①昭和47年11月 ④国立劇場事業部 ③茜屋半兵衛・舅宗岸・嫁お園・美濃屋三勝のカシラ

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	収穫は三味線十人の「勸進帳」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和47年11月東京国立劇場小劇場所演（一言）。 初出＝「読売新聞」昭和47年11月16日
	若い世代の思考	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第30巻 第14号	①昭和47年12月 ④演劇出版社 ③昭和47年11月東京国立劇場小劇場所演
	艶容女舞衣細見	解説 梗概	小池章太郎		季刊雑誌歌舞伎	第19号	①昭和48年1月 ④松竹 ③歌舞伎の演出を中心に芸談などを記載
	六章 恍惚の世界 世話物 艶容女舞衣	鑑賞	吉永孝雄		カラー文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一＝写真
	今月の演しものと遺跡 艶容女舞衣	史跡	牧村史陽		朝日座筋書		①昭和49年7月 ④文楽協会
	関西劇信 二人の沖田総司と文楽婦朝公演	劇評	北岸佑吉		演劇界	第32巻 第10号	①昭和49年9月 ④演劇出版社 ③昭和49年7月朝日座所演
	七四年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七五年 版	①昭和50年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和49年7月朝日座所演（一言）
	一九七四年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	文楽と初代栄三 * 文楽の視覚—人形美と心理描写について—	鑑賞	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③初出＝昭和29年1月。人形における心理描写
	* 栄三と文五郎—その比較論など—						③初出＝昭和12年2月
	* 吉田栄三の芸						③初出＝昭和23年2月
	手摺 六 世話物＝名場面 艶容女舞衣	解説	山田庄一		文楽 人形の美学		①昭和49年10月 ④毎日新聞社 ③森晋六・榎本由喜雄・山田庄一・佐藤鉄彌＝編輯、林嘉吉＝写真
218	人形の型 艶容女舞衣	解説 梗概 演出	中西敬二郎		文楽への道—その見方・聞き方・味わい方—		①昭和50年1月 ④早稲田大学出版部 ③《2》桐竹紋十郎のお園の型
	身のひきしまる舞台	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和50年5月東京国立劇場小劇場所演（一言）。 初出＝「読売新聞」昭和50年5月10日

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	復活ものと名作への手引	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第33巻 第6号	①昭和50年6月 ④演劇出版社 ③昭和50年5月東京国立劇場小劇場所演
	艶容女舞衣	鑑賞	大鋸時生・三村幸一		文楽—鑑賞のために—		①昭和50年10月 ④保育社 ③カラーブックス338
	心中もの (三) 三勝・半七の実説	考証	荒川秀俊		江戸の実話 〈実 事譚の世界〉	1	①昭和51年5月 ④桃源社 ③桃源社新書
	リアルな演技、生々しい感動	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和52年2月東京国立劇場小劇場所演(一言)。 初出=「読売新聞」昭和52年2月9日
	岡崎の雪 大安寺の寒月	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第35巻 第3号	①昭和52年3月 ④演劇出版社 ③昭和52年2月東京国立劇場小劇場所演
	三勝半七情死の実説と上演略史—附「道行霜 夜の千日」の演出	演出	吉永孝雄		甲南国文	第24号	①昭和52年3月 ④甲南女子大学国文学会
	文楽名作鑑賞 艶容女舞衣	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	三勝・半七と千日前	史跡			朝日座筋書		①昭和54年7月 ④文楽協会
	さまざまな舞台構成	劇評	大鋸時生		演劇界	第37巻 第9号	①昭和54年8月 ④演劇出版社 ③昭和54年7月朝日座所演
	“古典修行、継続の場	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和55年9月24日東京国立劇場小劇場所演「花光 会」(一言)。初出=「読売新聞」昭和55年9月27 日
	近世の名句名言 【艶容女舞衣】	鑑賞	内山美樹子		國文學 解釈と教 材の研究	第26巻 第10号	①昭和56年7月 ④學燈社 ③7月臨時増刊号。特集〈日本の名句名言666〉。 「今頃は半七様~かふした難義は出来まい物」
	人形の型㊸ 「帯しめ」	鑑賞	(I) 岩田彰=撮影		国立劇場文楽公演 解説書	第66回	①昭和58年9月 ④国立劇場事業部 ③お園

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	通しが期待される『苅萱』	劇評	富岡泰		演劇界	第41巻 第11号	①昭和58年10月 ④演劇出版社 ③昭和58年9月東京国立劇場小劇場所演
	アメリカ公演 旅日記	記録	《3》吉田簑助		文楽	第2号	①昭和59年2月 ④「文楽」編集部 ③昭和58年3月アメリカ公演（お園のくどきのみ上演）
	女形人形のかしらと型	芸談		吉田文雀			③昭和58年12月7日渋谷区立勤労福祉会館で行われた人形浄るり一楽会主催講演を再録。お園のくどき
	三つの和 * 鯛と喘息	芸談	高木浩志	《4》竹本越路大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③咳の描写
	語り物あれこれ * 「長局」						③「酒屋」との比較
	家の芸とカズラ語り	芸談	田結莊哲治	《4》竹本津大夫	文楽三代 竹本津大夫 大夫聞書		①昭和59年4月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス35。素人義太夫の感想
ブ16、 411	艶容女舞衣	解説 梗概	内山美樹子		日本古典文学大辞典	第5巻	①昭和59年10月 ④岩波書店
	ふだんの話 三勝半七の義太夫	随筆	宇野千代		すばる	第6巻 第12号	①昭和59年12月 ④集英社
	五、文楽小史 * 三業完成	解説	《7》竹本住大夫・和多田勝		文楽説き語り 言うて暮しているうちに		①昭和60年4月 ④創元社
	十一、文楽協会誕生 * 小浪とお園	芸談					③お園と宗岸
	文楽の名作 八四 夫を慕う処女妻の口説『艶容女舞衣』 酒屋	鑑賞	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
	竹豊座の思い出	芸談	高木浩志	竹澤弥造	上方芸能	91号	①昭和61年5月 ④『上方芸能』編集部 ③《2》竹本春子太夫の「酒屋」（一言）
	貴重な体験談 竹豊座の思い出				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院
	故郷を出て文楽へ	芸談	田結莊哲治	《2》吉田玉五郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66。吉田玉市の半兵衛
	代役をさせてもらった幸せ						③吉田難波掾のお園
	解説篇 後ろ振り						③お園

上演資料集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	情の深さ	随筆	岡部伊都子		国立文楽劇場文楽公演解説書	第17回	①昭和62年1月 ④国立劇場
	“お園、に教わった文楽の素晴らしさ	芸談	川崎一朗	《3》吉田襄助			
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治				
	出色の出来ばえ 襄助のお園	劇評	田結莊哲治		演劇界	第45巻 第2号	①昭和62年2月 ④演劇出版社 ③昭和62年1月国立文楽劇場所演
	『酒屋』と盛綱と	劇評	富岡泰		演劇界	第45巻 第13号	①昭和62年11月 ④演劇出版社 ③昭和62年9月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	越路の「酒屋」、玉男の盛綱	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和62年9月東京国立劇場小劇場所演（一言）。初出＝「読売新聞」昭和62年9月17日
	八七年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八八年版	①昭和63年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和62年1月国立文楽劇場・9月東京国立劇場小劇場所演（一言）
	一九八七年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	皿音で楽しむ名曲の数々7クドキの情緒	鑑賞	茂手木潔子		文楽 声と音と響き		①昭和63年1月 ④音楽之友社 ③お園のクドキ。譜例付載
	三勝・半七心中の遺書	実説	宮沢誠一		八幡大学論集	第39巻 第4号	①平成1年3月 ④八幡大学法経学会
	再説『八犬伝』と演劇	研究	河合眞澄		読本研究	第3輯上套	①平成1年6月 ④溪水社 ③広島文教女子大学研究出版委員会『読本研究』編集部＝編。『八犬伝』に取り入れられた趣向
	第三部 『八犬伝』と演劇 第十五章 『八犬伝』と演劇（二） 二、『艶容女舞衣』				近世文学の交流—演劇と小説—		①平成12年7月 ④清文堂出版
	純粋な恋心—『艶容女舞衣』のお園	随筆	佐伯順子		国立文楽劇場文楽公演解説書	第40回	①平成3年4月 ④日本芸術文化振興会
	『楠昔噺』と『新薄雪物語』	劇評	藤井康雄		演劇界	第49巻 第5号	①平成3年5月 ④演劇出版社 ③平成3年4月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『酒屋』のお園にみる簀助の芸	劇評	安土政夫		上方芸能	109号	①平成3年10月 ④『上方芸能』編集部 ③平成3年4月国立文楽劇場所演
	第一章 入門 * 雪降りの林檎	芸談	《3》吉田簀助		頭巾かぶって五十年		①平成3年8月 ④淡交社 ③婆の足と《3》吉田文五郎（吉田難波掾）のお園
	第二章 襲名 * キャバレー						③トラックの荷台で公演
	簀助の世界	グラフィ ア	青木信二＝写真				③「酒屋」
	第三章 簀助の世界 * 女方の人形の型	芸談	《3》吉田簀助				③お園の振り
	* 文楽に生きる女たち						③お園の演出
	「酒屋」のお園	随筆	渡辺保		国立劇場文楽公演 解説書	第99回	①平成4年5月 ④日本芸術文化振興会
	表現に深み玉男の熊谷	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成4年5月東京国立劇場小劇場所演（一言）。初 出＝「読売新聞」平成4年5月12日
	再開場お目見え文楽	劇評	富岡泰		演劇界	第50巻 第6号	①平成4年6月 ④演劇出版社 ③平成4年5月東京国立劇場小劇場所演
	文楽人形の仕組と表情 六 女形人形の表現	芸談	森西真弓＝構成・ 文	《3》吉田簀 助	別冊太陽 日本の こころ	No.80 文楽	①平成5年1月 ④平凡社 ③お園
	文楽名作案内 艶容女舞衣	解説	名和久仁子				③阪口弘之＝編
	酒屋	鑑賞	近藤瑞男		カブキ101物語		①平成5年7月 ④新書館 ③渡辺保＝編
	もっとおもしろい文楽を * 太夫の個性	芸談	横山正＝聞き手／ 蒲生郷昭＝文章化	《2》桐竹勤 十郎	文楽談義—語る・ 弾く・遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔＝監修、義太夫研究会＝編著。《5》竹 本鏗太夫の「酒屋」
	嘘を真らしく * 掛け声いろいろ		茂手木潔子	《3》吉田簀 助			③お園の後ろ振り
	* 理想の太夫						③お園の出

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	お園「艶容女舞衣」	鑑賞	《3》吉田襄助・山川静夫		文楽の女 吉田襄助の世界		①平成6年3月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月新書版刊
	対談 お園と人形遣い	芸談	山川静夫	《3》吉田襄助			
	第三部 名作の鑑賞 世話物 艶容女舞衣	解説	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版
	Ⅱ 劇評家と文楽の人々 初世栄三・文五郎	鑑賞	吉永孝雄		吉永孝雄の私説昭和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2。《3》吉田文五郎（吉田難波掾）と《1》吉田栄三の「酒屋」
	文楽見どころ聞きどころ 艶容女舞衣	鑑賞	廓正子		文楽入門 鑑賞へのいざない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青木信二＝写真
	各段ともに充実の『双蝶々』	劇評	田結莊哲治		演劇界	第53巻 第14号	①平成7年12月 ④演劇出版社 ③平成7年11月国立文楽劇場所演
	震災後の文楽と九代目綱大夫誕生—文楽・九五年八月～九六年一月—	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	17	①平成8年6月 ④歌舞伎学会 ③平成7年11月国立文楽劇場所演（短評）
	淀川長治の文楽十選 艶容女舞衣	鑑賞	淀川長治		広告批評	No.205	①平成9年5月 ④マドラ出版 ③特集〈淀川長治と吉田玉男の文楽入門〉
	文楽千夜一夜 * 豊竹嶋大夫 * 鶴沢清介 * 吉田文雀	芸談	松平盟子	《8》豊竹嶋大夫 鶴沢清介 吉田文雀	文楽地方公演プログラム		①平成9年9月 ④文楽協会 ③おその
	文楽あれやこれや	鑑賞	高木浩志				
	第三部 楽劇としての文楽・歌舞伎 1 楽劇としての文楽・歌舞伎 2 楽劇の完結	研究	横道萬里雄		岩波講座 歌舞伎・文楽	第10巻 今日の文楽	①平成9年12月 ④岩波書店 ③見取り上演の特徴を「酒屋」で例示
	文楽の物語 おすすめ文楽演目 * 艶容女舞衣	解説	井上由理子		はじめての歌舞伎・文楽・能・狂言 古典芸能楽々読本		①平成11年1月 ④アートダイジェスト
	語り物の感性情報処理—音響分析による義太夫節『艶容女舞衣』の考察—	研究	関天基		國文學論叢	第44輯	①平成11年2月 ④龍谷大學國文學會

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	第一章 わが愛しの文楽 家族の深い愛—艶姿女舞衣・酒屋の段	随筆	広谷鏡子		恋する文楽		①平成11年9月 ④洋泉社
411	上演演目に沿って～越路大夫・21世紀への メッセージ * 酒屋	芸談	高木浩志＝聞き手	《4》竹本越 路大夫	国立劇場上演資料 集	411	①平成11年9月 ④日本芸術文化振興会
	簗助復帰の『酒屋』のお園	劇評	福本和生		演劇界	第57巻 第14号	①平成11年10月 ④演劇出版社 ③平成11年9月東京国立劇場小劇場所演
	三本の見取り公演を中心に —一九九年下半年の文楽—	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批 評	25	①平成12年6月 ④歌舞伎学会 ③平成11年9月東京国立劇場小劇場所演
	文楽の名作ダイジェスト 艶容女舞衣	解説	後藤静夫		NHK 日本の伝 統芸能		①平成12年4月 ④日本放送出版協会 ③やさしい文楽鑑賞入門Ⅶ
	舞女三勝のこと	研究	脇田晴子		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第78回	①平成12年4月 ④日本芸術文化振興会
	たっぷり満腹感のある「酒屋」	劇評	田結莊哲治		演劇界	第58巻 第6号	①平成12年5月 ④演劇出版社 ③平成12年4月国立文楽劇場所演
	真骨頂示す嶋大夫・清介の「重の井子別れ」	劇評	片山剛		上方芸能	137号	①平成12年8月 ④『上方芸能』編集部 ③平成12年4月国立文楽劇場所演
	玉男の大きさを確かめつつ—平成十二年上半 期の文楽—	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批 評	26	①平成12年12月 ④歌舞伎学会 ③平成12年4月国立文楽劇場所演（短評）
	文楽の名作ダイジェスト 『艶容女舞衣』	あらず じ	阿部俊夫		NHK 日本の伝 統芸能		①平成13年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門Ⅷ
	四、師匠逝去 * 一秒・一センチ	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとす じ おつるから政 岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③《2》桐竹紋十郎のお園の左
	五、文楽へのいぎない * 文楽の女たち						③お園
	第七章—文楽鑑賞ベストテン 其の三 ステップアップ文楽 二、『艶容女舞衣』	随筆	田中マリコ		文楽に連れてっ て！		①平成13年11月 ④青弓社
	『艶容女舞衣』のお園	鑑賞	大谷晃一		文楽の女たち		①平成14年2月 ④文藝春秋 ③文春新書228

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽の名作 艶容女舞衣	解説	浦田健次郎＝監修 児玉竜一＝編著		能楽 文楽 歌舞 伎 日本の伝統芸 能への誘い		①平成14年8月 ④教育芸術社
	編集部が選ぶ 心に沁みる名作30選 酒屋『艶容女舞衣』	解説			上方芸能	146号	①平成14年12月 ④『上方芸能』編集部 ③特集〈やさしさとしての芸能文化〉
	第一部 論文篇 第四章 近世文芸の女性像 第四節 「艶容女舞衣」のお園	研究	鳥居フミ子		元禄浄瑠璃の展開		①平成15年2月 ④勉誠出版
	第一章 おじいさんおばあさんが登場する作 品は、私の声柄と合うてます『艶容女舞衣◎ 上塩町酒屋の段』通称〈酒屋〉 宗岸、半兵衛をしっかり語らな お園のクドキ が目立たず、〈酒屋〉が成り立ちません	芸談	《7》竹本住大夫		文楽のこころを語 る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③平成21年1月文庫版
	劇場必携演目ダイジェスト24 艶容女舞衣	あらず じ	松平盟子		劇場に行こう 文 楽にアクセス		①平成15年10月 ④淡交社
	文楽を聞きに行く	随筆	赤川次郎		人形は口ほどにも のを言い		①平成16年4月 ④小学館 ③『本の窓』（平成12年3・4月合併号～平成15年5 月号）連載分に加筆したもの。くどきについて
					赤川次郎の文楽入 門～人形は口ほど にものを言い～		①平成19年8月 ④小学館 ③小学館文庫
	名作紹介 艶容女舞衣	解説	江南真理		物語で学ぶ日本の 伝統芸能	4文楽	①平成16年4月 ④くもん出版 ③平島高文＝監修
	文楽歴史散歩 幕間つれづれ話 * 豊竹嶋大夫 * 吉田文雀	史跡 芸談	田結莊哲治 榎その＝文・漫画	《8》豊竹嶋 大夫 吉田文雀	文楽地方公演プロ グラム		①平成16年10月 ④文楽協会
	吉田文雀聞書 * 芸風と役柄	芸談	阿部俊夫	吉田文雀	演劇界	第62巻 第14号	①平成16年10月 ④演劇出版社 ③お園の型のいろいろ
	シリーズ・文楽まめ知識⑩	参考	高木浩志		国立劇場文楽公演 解説書	第149回	①平成16年12月 ④日本芸術文化振興会
	文楽まめ知識 囃子				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	見どころいっぱい 名シーンで知る文楽の愉 しみ 世話物 ひしひしと伝わってくる女心の切な さ『艶容女舞衣』酒屋の段	鑑賞	広瀬依子		NHK 日本の伝 統芸能		①平成17年4月 ④日本放送出版協会 ③豊竹英大夫・吉田玉女の文楽入門
	文楽・知識の泉⑦	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第98回	①平成17年4月 ④日本芸術文化振興会 ③羊兵衛
	技芸員にきく 吉田玉也	芸談	広瀬依子＝聞き書 き	吉田玉也			③「酒屋」の丸行灯
	シリーズ・文楽の仕事④ 小道具	解説	高木秀樹				
	目立つ人形陣の活躍	劇評	廓正子		演劇界	第63巻 第6号	①平成17年5月（6月号） ④演劇出版社 ③平成17年4月国立文楽劇場所演
	聴衆の「受け止める力」	劇評	片山剛		上方芸能	157号	①平成17年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成17年4月国立文楽劇場所演
	第一章 キーワードでたどる文楽 吉田簀助	随筆	亀岡典子		文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社 ③「産経新聞」（平成15年1月12日～16年3月26日 付）連載をまとめたもの。《3》吉田簀助のお園に ついて
	最終章 人間の心底を描き続ける文楽の世界 一人の男を愛した二人の女						
	世話物 艶容女舞衣	解説	高木秀樹＝著／青 木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版刊
	名作文楽50 艶容女舞衣				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文楽 50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	文楽の女たち—お園、お里、深雪—	随筆	大谷晃一		国立劇場文楽公演 解説書	第155回	①平成18年5月 ④日本芸術文化振興会
	燕三襲名の『ひらかな盛衰記』	劇評	福本和生		演劇界	第64巻 第11号	①平成18年7月（8月号） ④演劇出版社 ③平成18年5月東京国立劇場小劇場所演
	新コンビの『曾根崎心中』	劇評	廓正子		演劇界	第66巻 第1号	①平成20年1月 ④演劇出版社 ③平成19年11月国立文楽劇場所演（短評）
	今ごろは、玉男さん	劇評	片山剛・樋谷礁		上方芸能	167号	①平成20年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成19年11月国立文楽劇場所演
	三勝・半七	解説	三善貞司		大阪伝承地誌集成		①平成20年5月 ④清文堂出版

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	人形の役作りとかしら割り—吉田文雀師に聞く	芸談	後藤静夫＝聞き手 ／児玉竜＝編集 協力	吉田文雀	國文學 解釈と教 材の研究	第53巻 第15号	①平成20年10月 ④學燈社 ③10月臨時増刊号。特集〈文楽—人形浄瑠璃への招待—〉。お園で気を付けること
	「沼津」住・綱で語り分け競演	劇評	津田類		演劇界	第67巻 第11号	①平成21年11月 ④演劇出版社 ③平成21年9月東京国立劇場小劇場所演
	文楽・知識の泉①	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第122回	①平成23年4月 ④日本芸術文化振興会 ③「文楽・知識の泉⑦」（「国立文楽劇場第98回文楽公演解説書」平成17年4月）を改訂
	時代物・世話物・景事物 文楽を味わう一助になれば 艷容女舞衣				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院
	源大夫、藤藏の名跡復活	劇評	亀岡典子		演劇界	第69巻 第6号	①平成23年6月 ④演劇出版社 ③平成23年4月国立文楽劇場所演（短評）
	新たなる一步を刻む	劇評	森田美芽・片山剛		上方芸能	181号	①平成23年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成23年4月国立文楽劇場所演
	大輪の花、勘十郎の阿古屋	劇評	富岡泰		演劇界	第70巻 第7号	①平成24年7月 ④演劇出版社 ③平成24年5月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	平成二十四年上半期の文楽	劇評	内山美樹子		歌舞伎 研究と批 評	50	①平成25年9月 ④歌舞伎学会 ③平成24年5月東京国立劇場小劇場所演
	文楽思い出ばなし その十五	鑑賞	山川静夫		国立劇場文楽公演 解説書	第186回	①平成26年2月 ④日本芸術文化振興会 ③《3》竹本春子太夫
	天性の美声を開花させた厳しい稽古				山川静夫の文楽思 い出ばなし		①平成29年8月 ④岩波書店
	文楽入門 ある古書店主と大学生の会話⑦～艷容女舞衣～	入門	久堀裕朗		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第144回	①平成28年10月 ④日本芸術文化振興会
	清介の三味線	劇評	宮辻政夫		演劇界	第75巻 第1号	①平成28年12月（平成29年1月号） ④演劇出版社 ③平成28年11月国立文楽劇場所演
	平成二十八年後半の文楽 —国立劇場開場五十周年—	劇評	内山美樹子		歌舞伎 研究と批 評	59	①平成29年11月 ④歌舞伎学会 ③平成28年11月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	大序 徳島と十代豊竹若太夫 * 人間国宝、しかし……	芸談	《6》豊竹呂太夫・ 片山剛		文楽・六代豊竹呂 太夫 五感のかな たへ		①平成29年3月 ④創元社 ③《10》豊竹若太夫の「酒屋」
	三段目 艱難から希望へ * 文楽の「赦し」						③お園の解釈
	2章 はじめてさんへのオススメ演目 * 艶姿女舞衣	入門	上島カンナ＝マン ガ 文楽協会＝協力		マンガでわかる文 楽		①平成31年3月 ④誠文堂新光社 ③佳山泉＝執筆協力、人形浄瑠璃文楽座＝協力
	3章 勝手に決定！TOP5 クズ男&キャラ 立ち女 バーチャルインタビュー * 紙屋治兵衛 『心中天網島』より						